

平成30年度 公共事業再評価調査

(区分) **国補** ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業 (国補)]		事業箇所	大月市梁川町～上野原市秋山尾崎	地区名	林道富士東部 (北) 線	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)			
	S58~H19	S58~H30	S58~H31					
総事業費	6,140 百万円	6,293 百万円	6,358 百万円		①地域・住民の意向状況 大月市と上野原市秋山は隣接しているものの往来には他地区を大きく迂回する必要がある。都市部と農山村部を一体とした生活圏形成及び緊急時輸送の大きな障害となっている。また、林業経営においてもコストの増大、高齢化等情勢の悪化は当圏にも重大な影響を与えている。 一方近年では、登山・トレラン等といった保健休養利用への期待が高まり、地元の林道への期待は非常に大きいものがある。(上野原市長からの意見聴取)			
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 本路線は、大月市梁川町と上野原市秋山尾崎を結び森林基幹道であり、桂川及び秋山川流域の広大な森林の管理経営の効率化を目的に開設している。利用区域1,313haのうちスギ、ヒノキ等の人工林が約49%を占め、これらの森林の適正な管理、木材生産に加え、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるための基盤となる基幹的な林道である。 また、国道20号と県道四日市場上野原線を連絡することにより、広域的な交通の利便性向上や、山村地域の振興、活性化にも寄与する。 (事前評価未実施) <input type="checkbox"/> 主要目標 ○森林整備の効率化 <input type="checkbox"/> 副次目標 ○なし <input type="checkbox"/> 副次効果 ○アクセス機能の維持 ○防火帯・延焼遮断帯の確保 ○リサイクルの推進								
②事業概要 (現計画から変更なし) 森林基幹道開設 延長 L=15,065m 幅員 W=5.0m								
③全体計画								
現計画	工事内容	平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降	③国等の方針 国は平成28年5月に「森林・林業基本法」の見直しを行い、平成37年までに国産材自給率の目標を50%とし、森林施業の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。			
		林道開設 L=14,915m	林道開設 L=150m					
変更計画	工事内容	平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降	④上位計画・関連事業計画等 ・やまなし森林・林業振興ビジョン (平成27～36年度) ・山梨東部地域森林計画 (平成26～35年度) ・第3次県有林管理計画 (平成28～37年度) ・山梨県林内路網整備計画 (平成27～36年度) ・社会資本整備重点計画 (平成27～31年度)			
		林道開設 L=14,817m	林道開設 L=150m					
事業費		6,227 百万円	66 百万円		⑤自然環境条件等 なし ⑥その他 なし			
事業費		6,227 百万円	66 百万円	65 百万円				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
④特記事項 (関連事業概要等) 大月市、旧上野原町、旧秋山村、道志村で設立した「林道富士東部線開設促進同盟会」の要望により、昭和58年度に事業の採択を受け全体計画を樹立し、同年度に県代行工事として着手した。								
⑤これまでの評価状況 (平成25年度再評価) 森林を適正に管理し、また生活関連林道として地元の期待も大きい林道であり、現在ほぼ計画どおりの進捗で進捗している。更なるコスト縮減と時間管理を徹底し、計画年度までの完成に努められたい。								
(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]								
経済 効率 性	項目	着手時点	再評価時点	変更計画時点	費用対効果比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、森林の総合利用便益、一般交通便益ほか			
	総事業費	6,140百万円	6,140 百万円	6,358 百万円				
	工期	S58~H19	S58~H27	S58~H31				
	評価基準年	S58	H25	H30				
	費用	— 百万円	11,750 百万円	15,085 百万円				
	建設費	— 百万円	11,612 百万円	14,724 百万円				
	維持管理費	— 百万円	138 百万円	361 百万円				
	便益	— 百万円	12,393 百万円	15,542 百万円				
	木材生産	— 百万円	201 百万円	239 百万円				
	森林整備	— 百万円	4,824 百万円	7,070 百万円				
災害軽減	— 百万円	1,134 百万円	1,343 百万円					
その他※	— 百万円	6,234 百万円	6,890 百万円					
B/C	未算出	1.05	1.03					

2. 評価シート

(4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】	⑥変更計画の変更内容（事業費）
①これまでの計画変更等の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・権利関係が複雑なため用地交渉が難航し、計画どおりの事業進捗とならなかったため、計画期間を平成27年度まで延長した。（平成15年度再評価）（事業期間） 8年延長 ・国庫補助事業の緊縮や労務費の上昇等により、計画どおりの事業進捗とならなかったため、林野庁と協議し、計画期間を平成30年度まで延長した。（平成26年度）（事業期間） 3年延長 ②進捗率 別表のとおり。	国庫補助事業の緊縮や資材価格、労務費等の上昇により計画どおりの進捗とならなかったことから、事業費を6,358百万円、事業期間を平成31年度まで変更したい。（平成30年度）（事業費） 65百万円の増（事業期間） 1年延長
③事業進捗が順調でない理由 <ul style="list-style-type: none"> ・地形が極めて急峻な部分があり、線形再検討のため詳細測量を実施した結果、計画延長が延びなかったこと。 ・国庫補助事業の緊縮や近年の資材価格及び労務費の上昇により、年間の開設延長が延びなかったこと。 	(5) 評価項目【環境負荷等への配慮】 地形の改変を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については、緑化による保全が見込める箇所は在来種を配合した法面保護工による緑化を採用するなど、良好な自然環境の維持及び環境に配慮した計画である。
④今後の事業執行上の問題点 急峻な地形、脆弱な地質といった厳しい作業環境下での事業となることから、施工時の安全管理により留意する必要がある。	(6) 評価項目【コスト縮減の可能性】 地形に沿った平面・縦断線形を取り、切盛土量の収支均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行う。
⑤変更計画の進捗予定（期間） 詳細測量により全体計画額及び延長が確定した。計画期間を1年延長し、平成31年度の完成を目指す。	(7) 評価項目【代替案立案の可能性】 なし
	(8) 所管部の今後の方針 継続・ 見直し継続 ・その他（ ） （理由） 本路線は、森林の適正管理、持続的な森林の多面的機能の高度発揮等の目的を持つ当該地区唯一の基幹路線であることから、事業期間を1年延長し継続した上で、平成31年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費 単位：%

	年度	~H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	*H30	H31
現	計画	80	81	82	84	86	88	90	92	93	95	96	97	99	100	-
	実績	78	79	80	82	84	86	88	90	92	93	95	97	99	100	-
変更計画															99	100

*評価年度

*H30の実績は見込み

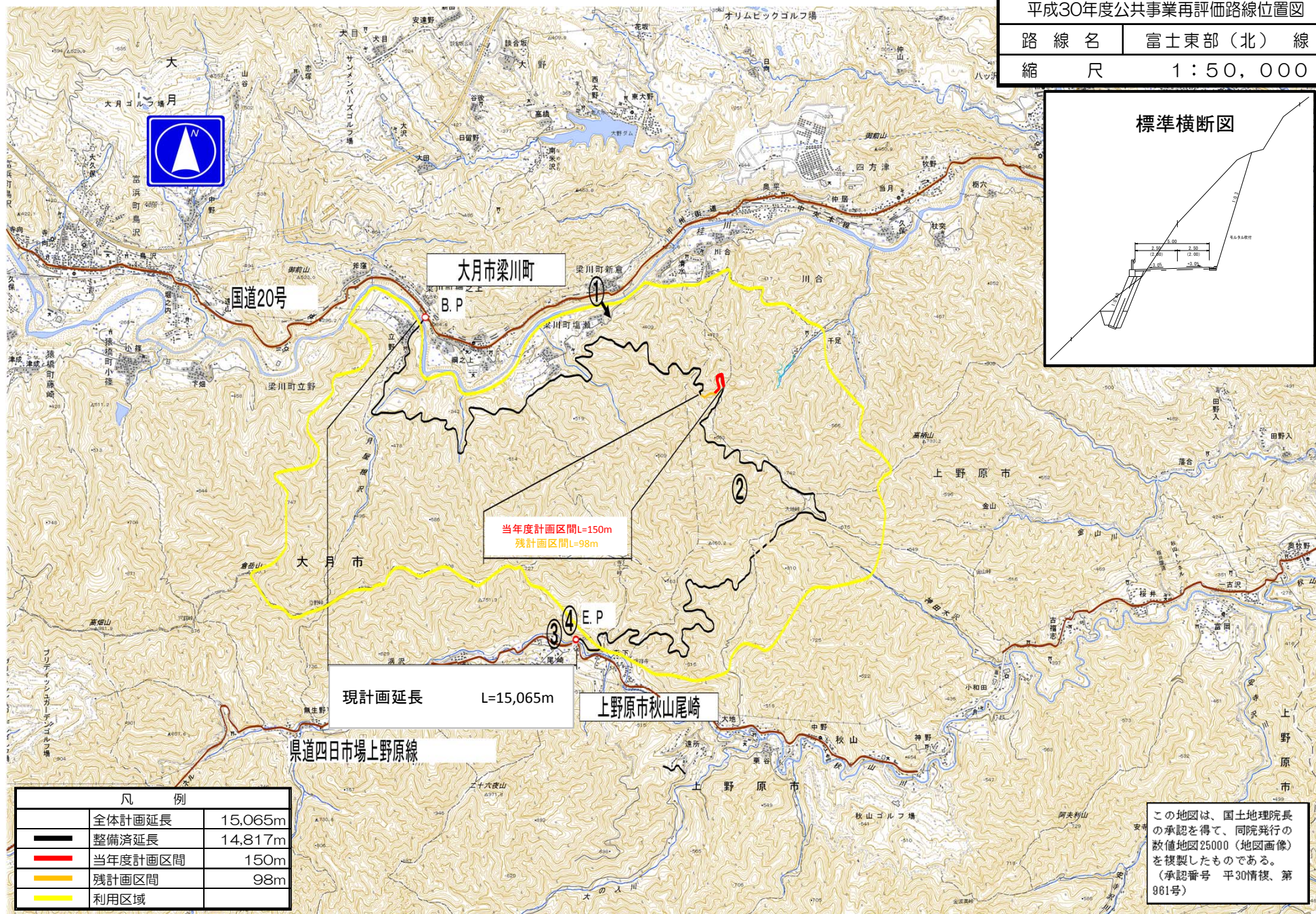
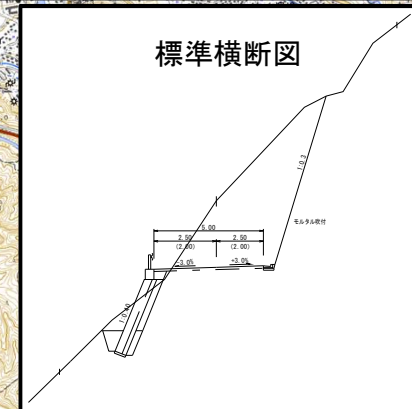
3. 添付資料シート (1)

平成30年度公共事業再評価路線位置図

路線名 富士東部(北)線

縮尺 1:50,000

標準横断面図



大月市梁川町

B.P

当年度計画区間L=150m
残計画区間L=98m

現計画延長 L=15,065m

上野原市秋山尾崎

県道四日市場上野原線

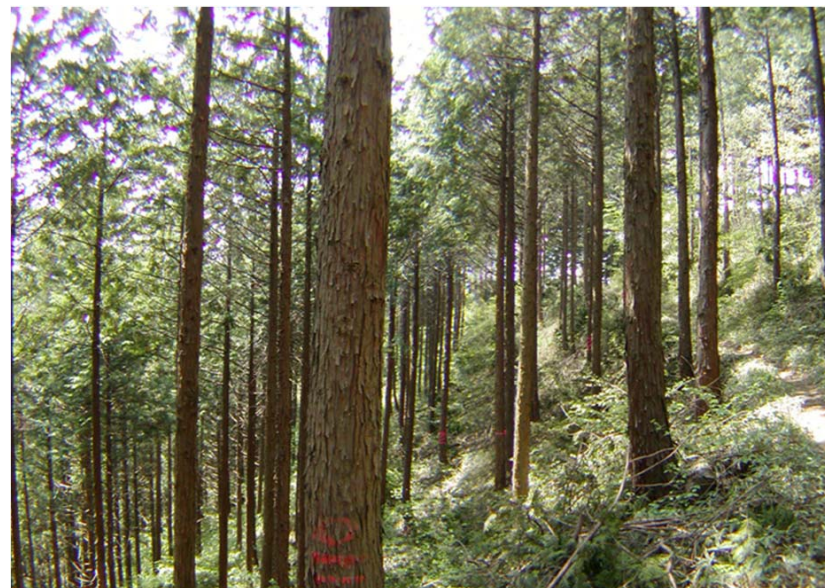
凡 例		
	全体計画延長	15,065m
	整備済延長	14,817m
	当年度計画区間	150m
	残計画区間	98m
	利用区域	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平30情模、第981号)

3. 添付資料シート (2)



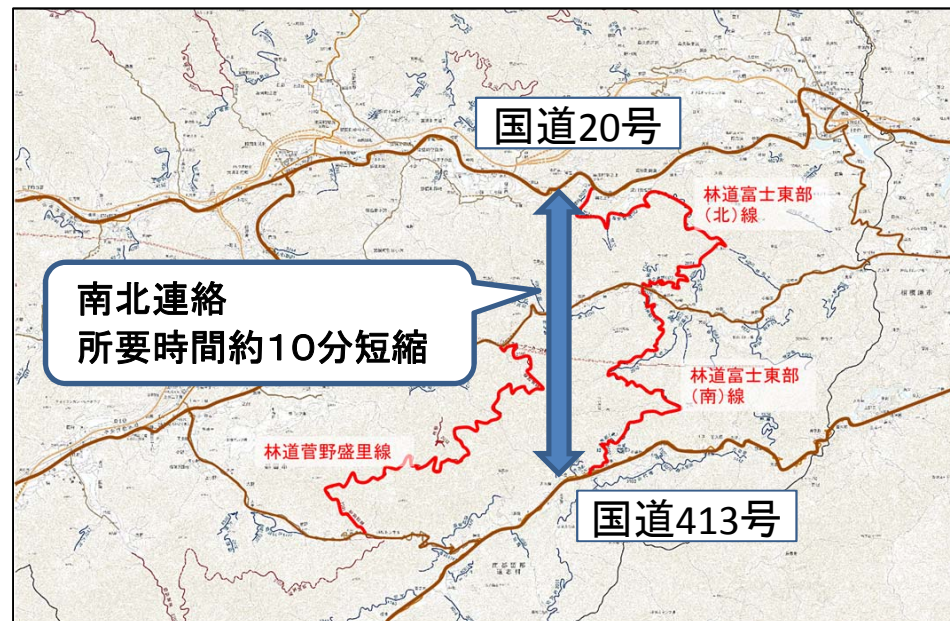
① 計画地遠景



② 既設林道沿線における森林整備の状況



③ レクリエーション (上野原トレイルレース) 利用状況



④ 集落間の連絡

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
～H14	4,504,750	開設延長 L= 9,470m	71
H15	185,000	開設延長 L= 548m	74
H16	127,000	開設延長 L= 331m	76
H17	70,000	開設延長 L= 289m	77
H18	70,000	開設延長 L= 342m	78
H19	70,000	開設延長 L= 321m	79
H20	140,000	開設延長 L= 588m	81
H21	140,000	開設延長 L= 494m	83
H22	115,000	開設延長 L= 400m	85
H23	115,000	開設延長 L= 476m	87
H24	130,000	開設延長 L= 382m	89
H25	100,000	開設延長 L= 212m	91
H26	70,000	開設延長 L= 180m	92
H27	140,000	開設延長 L= 382m	94
H28	146,001	開設延長 L= 284m	96
H29	104,259	開設延長 L= 118m	98
H30	66,000	開設延長 L= 150m	99
H31	65,000	開設延長 L= 98m	100
合計	6,358,010	開設延長合計 L= 15,065m	